

金井 求 (かない もとむ)

東京大学大学院薬学系研究科・教授

生年月日 1967年(昭和42年)3月24日

略歴

1989年(平成元年)3月 東京大学薬学部製薬化学科薬品製造化学教室卒業(古賀憲司教授)
1989年(平成元年)4月 東京大学大学院薬学系研究科薬品製造化学教室進学(古賀憲司教授)
1991年(平成3年)3月 東京大学大学院薬学系研究科修士課程修了(古賀憲司教授)
1991年(平成3年)4月 東京大学大学院薬学系研究科博士課程進学(古賀憲司教授)
1992年(平成4年)3月 東京大学大学院薬学系研究科博士課程中退
1992年(平成4年)4月 大阪大学産業科学研究所助手(富岡清教授)
1995年(平成7年)6月 博士(理学)(大阪大学産業科学研究所(富岡清教授))
1996年(平成8年)1月 博士研究員(University of Wisconsin (Professor Laura L. Kiessling))
1997年(平成9年)10月 東京大学大学院薬学系研究科助手(柴崎正勝教授)
2000年(平成12年)7月 東京大学大学院薬学系研究科講師(柴崎正勝教授)
2001年(平成13年)12月 さきがけ21(PRESTO)「合成と制御」研究代表者(2004年3月まで、村井眞二研究総括)
2003年(平成15年)2月 東京大学大学院薬学系研究科助教授(柴崎正勝教授)
2010年(平成22年)4月 東京大学大学院薬学系研究科教授
2011年(平成23年)10月 ERATO 金井触媒分子生命プロジェクト研究代表者
現在に至る。

受賞歴

ファイザー研究企画賞(2000年)「新規多点認識不斉触媒概念を基盤とした実践的シアノ基導入反応の開発と機能性分子の高効率合成への展開」

日本薬学会奨励賞(2001年)「ルイス酸-ルイス塩基複合多点認識概念を基盤とした新規不斉触媒反応の開発と展開」

Thieme Journals Award 2003 (2003年)

Merck-Banyu Lectureship Award (2005年)「触媒的不斉炭素-炭素結合形成反応の創製と応用: 四置換炭素のキラリティー制御」

平成17年度日本薬学会メディシナルケミストリーシンポジウムポスター賞「糖骨格を用いた新規LPAアンタゴニストの設計と合成」2005年(元木理恵、金井求、後藤牧子、池田忍、濱弘太郎、青木淳賢、新井洋由、柴崎正勝の共同受賞)

Asian Core Program Lectureship Award (2008年) “Cu(I)-Catalyzed Asymmetric Tetrasubstituted Carbon Synthesis”

Asian Core Program Lectureship Award from China (2010年) “Hard Anion-Conjugated Cu(I)

Catalysis: Application to Asymmetric Tetrasubstituted Carbon Construction and Synthesis of Drug Leads”
Asian Core Program Lectureship Award from Malaysia (2010 年) “Hard Anion-Conjugated Cu(I)
Catalysis: Application to Asymmetric Tetrasubstituted Carbon Construction and Synthesis of Drug Leads”
Novartis Lecturer in Organic Chemistry (2011 年), University of Illinois